

平成27年度

事業計画

公益財団法人太宰府市国際交流協会

平成27年度 事業計画書

1. 国際交流促進事業

(1) 広報啓発事業

① パンフレット、資料の収集・提供

国際交流関連の情報を収集し、国際交流関連の刊行物やチラシを協会窓口及び関係各所に設置し多くの人への閲覧及び配布することにより、国際交流への理解の促進を図る。

② 協会事業の広報活動

(ア) 協会の事業や活動を市内外に広くアピールしていくため、機関誌等情報発信を行う。

- ・ 賛助会員会報「フレンズベル NEWS」発行
- ・ いきいき情報センターや太宰府館等の市公共施設の掲示板上に最新の協会主催事業や福岡都市圏の国際交流関連事業の情報を掲示する。
- ・ 市庁舎やいきいき情報センターにて、事業報告写真展を開催する。

(イ) 公共の媒体の利用

- ・ 協会ホームページや市政だより「広報だざいふ」に、協会主催事業や参加者募集の告知を行う。
- ・ 市内公共施設、駅、スーパーマーケット等人が多く集まる場所へチラシ・ポスターを設置依頼する。
- ・ 「まほろば号」車内広告スペースの利用

(ウ) 公共以外の媒体の利用

- ・ 新聞・テレビなどの取材依頼

③ フレンズベル倶楽部賛助会員の加入促進

現会員の継続加入に加えて、市内学校ほか団体等にも呼びかけ、法人会員の加入促進を図る。また、国際交流事業の一般参加者に加入を積極的に呼びかけ、会員増を図る。協会役員による新規会員の積極的な勧誘活動を行う。

(2) 他の国際交流関連団体との連携

他市町の国際交流協会や(公財)福岡県国際交流センター、(公財)福岡よかトピア国際交流財団との情報交換、並びに FUKU-NET(福岡国際関係団体連絡会)ほか各種国際交流関係団体との交流を図りながら、事業展開や情報共有等の連携を図る。

(3) フレンズベル倶楽部メンバーのつどい

年間事業報告や今後の活動方針などの報告を行い、賛助会員、一般参加者、留学生、外国人の交流の促進を目的として開催する。

(4) 太宰府市民政庁まつり出展

市民まつりにおいて、まつり来場者を対象に国際交流の普及啓発を目的として、協会の活動や外国文化等を紹介するスペースを設置し、市民の国際化に対する関心を高めるとともに、留学生や在住外国人と市民との交流の場をつくる。

また、戦災や飢餓あるいは突然の災害により、被災し、悲惨な状況にある国や地域の復興の一助として、会場で紹介するとともに募金活動を行い、国際貢献を図る。

(5) 日本文化体験講座

市内在住の外国人や留学生と市民が、ともに日本の伝統文化・料理・遊びなどを体験しながら交流を行うことにより、相互理解を図ることを目的として実施する。

(6) 国際交流団体への活動助成

市内で活動している団体等が、自主的に企画・立案・実施する国際交流事業に対して助成を行い、市民レベルの国際交流の推進を図る。助成金は別に定める補助対象経費の2分の1以内、限度額5万円とし、助成事業の積極的な広報を行う。

(7) 国際理解教育支援事業

市内の小中学校等で行われる国際理解教育等のボランティア講師(ゲスト・ティーチャー)として、小中学校等の要請により、外国人および留学生を派遣し、子どもたちの国際化への関心を高め国際理解の促進を図る。

(8) 国際交流事業の共催・後援

市内で活動する団体等が、自主的に実施する国際交流事業に対し共催、後援を行い、国際交流及び国際理解の推進を図る。

(9) 外国語文化講座

国際交流員を講師として韓国語文化講座を開催し、コミュニケーション能力の向上、また講座を通じて韓国の文化等についての理解の促進を図る。

2. 外国人学生支援事業

(1) セカンドファミリー事業(ホストファミリー・ボランティア等の登録及び支援活動)

ホームステイ、ホームビジットの受け入れ家庭(ホストファミリー)やボランティアの登録を年間を通じて募る。留学生等と日本人との交流機会の提供を行うことにより、日本への理解と国際交流の促進を図る。

(2) 史跡散策交流会

留学生と日本人と一緒に太宰府市内の史跡を散策し、日本の文化や歴史を理解してもらい、交流を深める。

3. 在住外国人支援事業

(1) 日本語教室

在住外国人を対象に日本語の習熟並びに日本文化や生活習慣を学ぶ場として、日本語教室を市と共催で実施。教室の開催運営については、太宰府日本語教室ことだまの会への委託事業とする。

(2) 生活支援ガイドブック

市と共同で「外国人のための太宰府市生活情報ガイドブック」の情報更新、増刷を行い、在住外国人の日本における生活の利便性向上のための支援に努める。

また、内容を充実させるため、日本に在住する外国人や留学生に日本での生活に関し困っていること等の相談の場として留学生等フォーラムを開催し、生活の状況を把握する。